

サンキュー
さがみはら **39** キャッシュバックキャンペーン、
10月1日(木)～開始!

※記載内容は
市ホームページより



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、営業を自粛した市内事業者の皆さんや外出を控えた市民の皆さんへの感謝(サンキュー)と経済活性化に向けたキャンペーンが10月1日～スタート!
新しい生活様式を実践しながら、地元のお店を応援、お得にお買い物をしましょう。

参加事業者をチェック!



■どんなキャンペーン??

市内の参加事業者でキャンペーン期間中に15,000円以上のお買い物やサービスの提供を受け、市に申請した市民に3,900円をキャッシュバックします。

○キャッシュバック対象:参加事業者で15,000円以上(複数事業者合算可)の買い物やサービスの提供を受けた市民
※10月1日時点で市に住民登録がある人

○キャッシュバック額:1人3,900円

○実施期間:39日間(11月8日(日曜日))までか、3.9億円(先着10万人)に到達するまで ※終了日はホームページなどでご確認ください。



参加事業者は、のぼりか、ステッカーが目印!市のホームページからも検索できます。

「若手職員の提案で実現した、全国でも珍しい取り組み」とのことで、市長自ら事業者集めに奔走していました。



「相模原から日本を変える!」は、季刊です。直近号では、「もとむら賢太郎市長と振り返る2019年と2020年の展望」を特集。そのほか、東日本台風の被害の状況や、市長室の扉がクリアになったこと、小田急多摩線延伸の実態などを特集しました。
バックナンバーをご希望の方は下記事務局にご連絡ください。



相模原から日本を変える!会は、もとむら賢太郎市長を応援しています。

もとむら市長の活動をSNSでチェック!



発行:相模原から日本を変える!会 相模原市南区西大沼2-52-13 TEL:042-851-6152 FAX:042-851-6162
編集人:青山明日香 発行人:水野典之

つくる
幸せ色あふれる
相模原

相模原から
日本を変える!
季刊・2020年秋号



相模原市が「SDGs 未来都市」に選定されました!

令和2年7月17日、相模原市が「SDGs未来都市」に選定されました。「都市があって自然がある相模原市は日本一のSDGs都市を目指せる可能性に満ちている」と継続して訴えてきたもとむら賢太郎市長。その取り組みが、政府によっても認められた形です。もちろん、これはスタートでしかありません。SDGs未来都市の名に恥じない取り組みを続けていくことを期待しています。

安倍総理辞任、菅総理の誕生

8月28日、安倍総理が辞任を表明。新たに、神奈川県内選出の菅総理が誕生しました。

これまで国内外の様々な難題に取り組まれた安倍前総理に敬意を表します。そして、菅総理誕生によって、地方や地域を熟知され、現場たたき上げの新総理が国民の声に寄り添い、大いに手腕を発揮されることを、心より祈念いたします。

従来規制や慣例に捉われず、自治体との緊密な連携の中で、地域の元気が日本全体の活性化につながるような地方創生を、さらに進めていただきたいと思います。



昨年の令和元年東日本台風時に、相模原市の要望について面会

相模原市の「シビックプライド」大幅ランクアップ! 全国初となる条例も制定へ

	2020年調査	2018年調査
総 合	7 8 位	1 4 9 位
愛 着	6 9 位	1 5 0 位
誇 り	8 2 位	1 5 0 位
共 感	8 8 位	1 4 2 位
継続居住意向	8 0 位	1 4 0 位
他者推奨意向	6 5 位	1 4 1 位

調査対象：人口10万人以上の関東・関西の151自治体に居住する20歳～64歳の男女1万5,100人(各自治体100人)を対象にインターネットで質問。

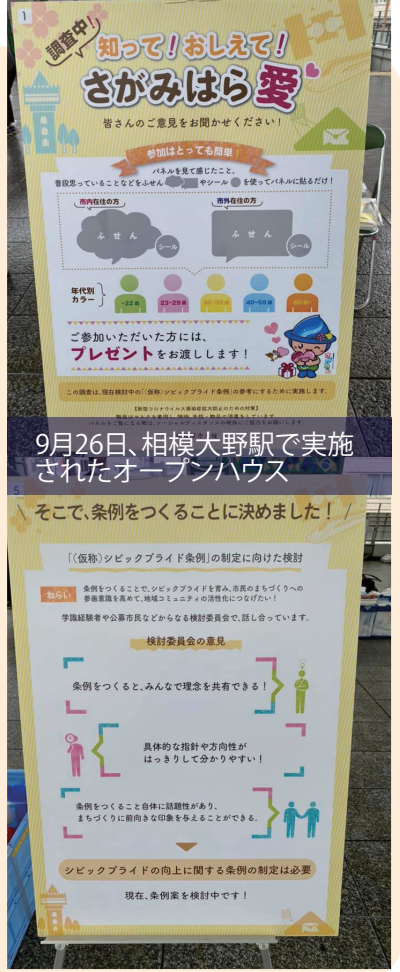
8月31日、読売広告社都市生活研究所が「シビックプライドランキング2020」を発表。前回2018年の調査から、相模原市のランキングが大幅にアップしました。

本村市長が市長選挙に臨もうと思った理由の一つが、前回調査でランキングが最低レベルだったこと。政策集にも「今ある資源。そして、ここに暮らす多様な市民。他市にはない、市民も知らない魅力をまず活かしていくことで、私たちのまち・相模原に誇りを持つところから始めます」と書かれています。

シビックプライドとは、「市民がまちに対して、“誇り”、“愛着”、“共感”を持ち、“まちのために、自ら関わっていかこうとする気持ち”のこと。シビックプライドの高まりによって、地域コミュニティの活性化につながり、住民の“住み続けたい気持ち”が向上すると期待されます。

将来もいきいきしたまちであるために、シビックプライドの向上は重要。そこで、相模原市では現在「(仮称)シビックプライド条例」の制定に向けた検討を行っています。条例をつくることで、シビックプライドを育み、市民のまちづくりへの参画意識を高めて、地域コミュニティの活性化につなげることがねらいとのことで、現在条例案が検討されています。制定されれば、全国で初めてとなる見込みとのこと。

条例案を説明しながら、ご意見を伺うオープンハウスも市内で実施されています。「条例制定までの過程から市民が参画すること自体で、シビックプライドの醸成につながるため、市民等に愛され、ご理解いただける条例を策定したい」と市長。対話を大切にする姿勢が伺えます。



新型コロナウイルス感染症対策の推進

※記載内容は令和2年10月1日現在のものです。



感染拡大防止対策について、赤間代議士、義家代議士とともに厚労副大臣に要望(8/27)

マスク着用、ソーシャルディスタンスがもはや当たり前となりました。新しい生活様式を実践し、感染症対策を講じ、コロナと向き合いながら命と暮らしを守ることが重要となっています。

相模原市では、度重なる補正予算で、国や県の支援が届かない部分を中心に市独自の対策を実施。「さがみはら39キャッシュバックキャンペーン」(詳細は裏面)など独自の経済施策も実施しています。また、アルバイトが減るなどで困っている大学生等に向けて、食材支援も実施中(第1・第3土曜/青少年学習センター等にて)。フードバンクやJAなど各団体の支援をいただき、SDGsに向けた取り組みともなっています。食材の寄附も募集中。

さらに、今後冬にかけて流行が想定される季節性インフルエンザとの同時流行を防ぐために、インフルエンザの予防接種を助成。高齢者は無償で接種できます(未就学児にも一部助成)。

新しい生活様式への移行促進の観点からも、GIGAスクール構想をより一層進め、小中学生に1人1台端末を実現。最終学年を対象には家庭学習用モバイルルーターの貸与も行われます。

施策は様々あるので、相模原市のホームページをご覧ください。下記ダイヤルにご相談ください。



連携強化について、県内3指定都市市長で県知事へ要望(8/28)

新型コロナウイルス感染症に関する各種相談窓口

- 新型コロナ暮らし・経済支援ダイヤル 042-769-3193 (午前8時30分～午後5時 ※土日祝除く)
経済支援や子育て支援など、新型コロナウイルス感染症への対策に関する様々な質問に対応します。(感染症一般、帰国者・接触者相談は除く)
- 新型コロナ感染症コールセンター 042-769-8204 (午前9時～午後9時)
新型コロナウイルス感染症に関する一般的なご相談に対応します。
- 帰国者・接触者相談センター 042-769-9237 (24時間)
感染が疑われる方の専用ダイヤル



迅速な給付を求めて、千葉市長とともに総務大臣に要望(6/25)